

令和4年度行政評価調書の見方

目次

I	行政評価調書の構成	…2P
II	各シート様式の見方について	…3～5P
	① 施策の概要（1枚目）	
	② 施策の評価（2枚目）	
	③ 小施策検討シート（3枚目以降 両面印刷 ）	
III	一次評価の判定方法について	…6～7P
	① 指標推移の判定について	
	• 指標に係る各数値について	
	• 指標推移の判定基準	
	② 一次評価の表記について	

I 行政評価調書の構成

評価調書は、全 32 の施策ごとに次の①～③のシートで構成。

① 施策の概要 ※1 ページ目

施策の全体像を示すシート。

施策の目指すべき姿とその展開方向のほか、施策に設定している市民アンケート指標、施策を構成する小施策とその指標等を記載。

② 施策の評価 ※2 ページ目

各段階の評価結果を記載するシート。

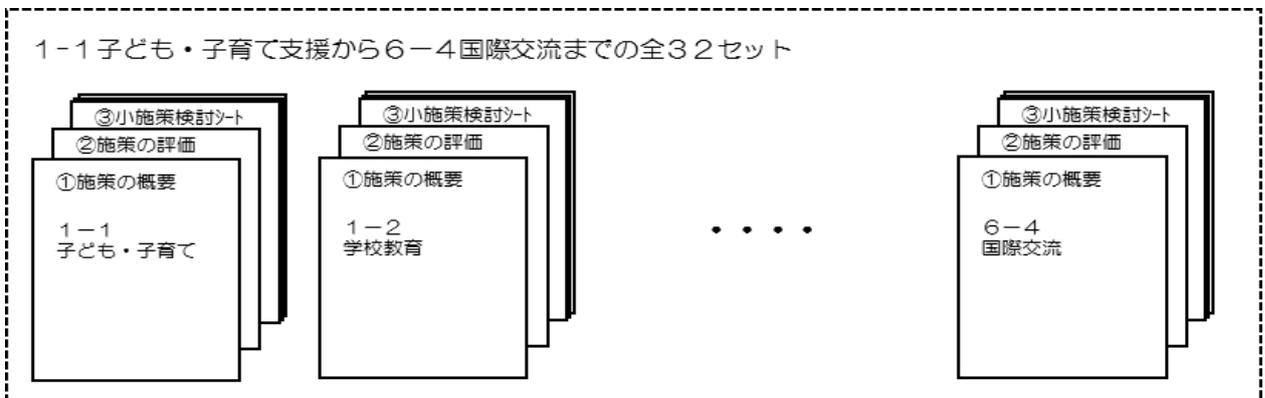
所管部・関係部による一次評価結果、有識者会議の点検結果、市長らによる二次評価結果を記載。

③ 小施策検討シート ※3 ページ目以降

各小施策に設定している指標推移とその要因分析結果や、指標改善のための対応方針などを記載するシート。

当シートは、小施策又は小施策に設定した指標ごとに作成している。

(全体構成イメージ)



(参考 施策一覧)

6つのテーマ	32の施策
安心して子どもを産み育てることのできるまち（子ども・子育て）	子ども・子育て支援、学校教育
誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）	地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、保健衛生、地域医療、男女共同参画社会
強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）	農林業、水産業、商業、工業・企業立地、観光、港湾、雇用・労働
生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）	上下水道、道路・河川、住宅、除排雪、市街地整備、交通、防災・危機管理、消防、生活安全
まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）	環境保全、循環型社会、公園・緑地、都市景観
生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）	社会教育、文化芸術、スポーツ・レクリエーション、国際交流

II 各シート様式の見方について

① 施策の概要（1枚目）

令和4年度 行政評価調書		総合計画の掲載場所（以下同様）							
■ 施策の概要		(第7次総合計画 基本計画 P.156～157)							
まちづくり 6つのテーマ	テーマ6 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）								
施策名	6-4 国際交流								
所管部	総務部	関係部	産業港湾部・生活環境部・教育部						
この施策の 目指すべき姿と その展開方向	(第7次総合計画 基本構想 P.45) 海外との交流が活発で、多様な文化とふれあえる、国際性豊かなまちを目指します。 このため、姉妹都市との使節団の相互訪問などを通じた交流を進めるとともに、市民が外国人とふれあう機会の創出や、本市に暮らす外国人の生活のサポートなどを行い、諸外国との相互理解の促進と国際化の推進を図ります。								
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 「まちづくり6つのテーマ」全32施策の施策ごとの目指すべき姿とその展開方向を記載（総合計画からの転記） </div>									
市民アンケート 指標	国際交流に関心がある市民の割合	市民アンケート指標とその基準値、 目標値を記載	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>29.3%</td> <td>基準値より増</td> </tr> </table>	基準値	目標値	29.3%	基準値より増		
基準値	目標値								
29.3%	基準値より増								
■ 施策の内容（小施策）		(第7次総合計画 基本計画 P.156～157)							
小施策 及び 指標	(1) 姉妹都市等との交流								
	指標	ホストファミリーと通訳ボランティアの登録者数	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>ホストファミリー54世帯</td> <td>60世帯</td> </tr> <tr> <td>通訳ボランティア70人</td> <td>100人</td> </tr> </table>	基準値	目標値	ホストファミリー54世帯	60世帯	通訳ボランティア70人	100人
	基準値	目標値							
	ホストファミリー54世帯	60世帯							
通訳ボランティア70人	100人								
(2) 外国人が暮らしやすい環境づくり									
指標	在住外国人の日本語教室受講者数	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>17人</td> <td>30人</td> </tr> </table>	基準値	目標値	17人	30人			
基準値	目標値								
17人	30人								

施策を構成する小施策とその指標、基準値及び目標値を記載
（施策により小施策及び指標の数は異なる）

② 施策の評価（2枚目）

令和4年度 行政評価調書					
■ 施策の評価（一次評価）					
まちづくり 6つのテーマ	テーマ6 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）				
施策名	6-4 国際交流				
所管部	総務部				
市民アンケート 指標	国際交流に関心がある市民の割合	29.3%	29.3%		目標値 基準値より増
市民アンケート 指標の推移	◎: 指標の推移は順調 △: 指標の推移は順調でない -: 判定不能(実績値なし)				
各小施策の 指標の推移	指標	基準値	実績値	推移	目標値
	(1) ホストファミリーと通訳ボランティアの登録者数	ホストファミリー54世帯 通訳ボランティア70人	55世帯 74人	△	60世帯 100人
	(2) 在住外国人の日本語教育受講者数	16人	16人	△	30人
【一次評価】 達成度の向上等 へ向けた今後の 方向性	C-1	(指標推移) (改善内容等) A: 各指標の推移は順調 1: 主な予算事業等をこのまま継続して推進する			
総評及び今後の 具体的方針 ほか特記事項	・国際交流に関心がある市民の割合は、姉妹都市交流が実施できていない（関係が）、基準値から減少しな かった。引き続き各種の施策を進めることで国際交流への関心が増すよう取り組んでいく。 ・ホストファミリーも通訳ボランティアも、姉妹都市交流事業が実施される年に増加する傾向にあり、令和3年度は 令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、姉妹都市交流事業が実施できなかったため、市 民の国際交流の関心は引き続き高まっていく。 ・在住外国人の日本語教育は、引き続き実施していく。 ・在留外国人の日本語教育の普及を図るため、昨年度に引き続き、日本語講師ボランティアの募集を行っている。				
■ 有識者会議による点検 （ <input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 非対象 ）					
点検結果	有識者会議の点検対象となった施策について、点検結果を記載				
■ 施策の評価（二次評価）					
【二次評価】 達成度の向上等 へ向けた今後の 方向性	(指標推移) A: 各指標の推移は順調 B: 各指標の推移は概ね順調 C: 各指標の推移はあまり順調でない D: 各指標の推移は順調でない		(改善内容等) 1: 主な予算事業等をこのまま継続して推進する 2: 主な予算事業等を改善しながら推進する 3: 主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う		
上記特記事項					

③ 小施策検討シート（3枚目以降 両面印刷 ）

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)					小施策の名称を記載				
(1) 姉妹都市等との交流					(第7次総合計画 基本計画 P.156)				
指標	指標名	指標の基準年		基準値		目標値			
	ホストファミリーと通訳ボランティアの登録者数	平成30年		①ホストファミリー54世帯 ②通訳ボランティア70人		60世帯 100人			
指標推移	年度ごとの実績値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
		①55世帯	55世帯	55世帯					
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)		小施策に設定している指標の実績値などと、指標推移の判定を記載		(減少)させた			
主な取組	★ナホト ○ホスト ○国際 小施策に設定している「主な取組」を記載（総合計画からの転記）								
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当				
	④ 目的と概要								
	⑤ 事業等実施状況								
	① 姉妹都市提携委員会交付金(00177)		② 440 千円		③ 総務部秘書課				
	④ 姉妹都市との相互交流による友好親善、市民に対して異文化に触れる機会の拡大を図る								
	⑤ 新								
	「主な取組」の記載に対応する主な予算事業や予算のない取組について下記①～⑤の内容を記載								
	①名称(事業番号) 他の小施策と共通する事業等は、事業番号の後に共通する小施策の番号を記載。								
	【例】 1-2 学校教育と共通 → 「名称(事業番号) (共1-2)」と記載								
	②前年度決算(見込)額 予算のない取組の場合は「予算なし」、他の施策の予算事業の一部として実施されている取組の場合は「-」と表記								
③担当									
④目的と概要									
⑤事業等実施状況 過去3年間(令和元年度～令和3年度)の実績などを記載									
指標推移の要因等	ホストファミリーと通訳ボランティアの登録者数が減少した 指標推移の要因等について、所管部・関係部により分析した結果を記載								
令和4年度の取組状況	< 指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等 > 令和4年度に実施した新たな取組や改善した取組などを記載								
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	1 1: 各事業をそのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となった。								
	指標推移の要因分析結果や、令和4年度の取組状況を踏まえた今後の対応方針と、その具体的な内容を記載								

Ⅲ 一次評価の判定方法について

① 指標推移の判定について

- 指標に係る各数値について

【基準値】 計画策定時に確認した数値

【実績値】 各年度に確認した数値

【目標値】 目標年度（令和 10 年度）までの達成を目指す数値

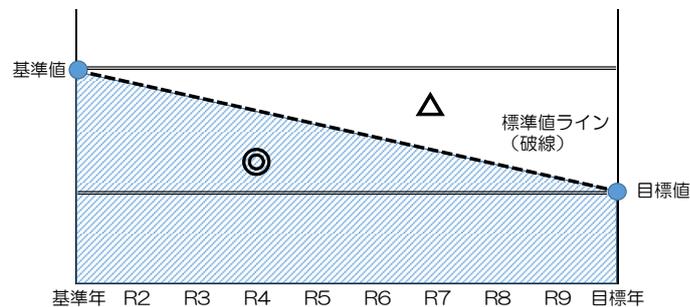
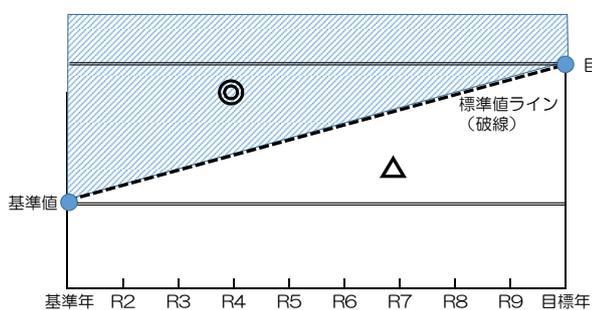
※【標準値】 基準値から目標値まで毎年度平均的に増加(減少)させた場合の、各年度の数値。
指標推移判定時に参考とした数値で、調書に直接記載はしていない。

- 指標推移の判定基準

指標推移の判定（◎、△）の判定は、指標を基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた標準値と実績値を比較し、実績値が標準値に届いていれば◎、届いていなければ△とする。

（例 1 指標数値を増加させる目標の場合）

（例 2 指標数値を減少させる目標の場合）



② 一次評価の表記について

調書2枚目「施策の評価」に記載する一次評価結果については、各指標推移を総合的に評価した結果（A～D）と、指標改善に向けた対応（1～3）の組み合わせで表記。

【指標推移の評価】

市民アンケート指標及び各小施策に設定した指標のうち、順調に推移している指標（判定◎）の割合に応じて、下記の目安に基づき評価。

例外として、推移が順調でない指標であっても、その実績値が計画等に基づくもので、計画通りに進捗している場合は、順調に推移している指標として取り扱うことを可能としている。（3-6港湾該当）

区分	判定基準	評価
A	◎の割合が75%以上	各指標の推移は順調
B	◎の割合が50%以上75%未満	各指標の推移は概ね順調
C	◎の割合が50%未満	各指標の推移はあまり順調でない
D	◎の割合が0%	各指標の推移は順調でない

【改善内容等】

指標推移の要因分析と事業などの取組状況を検討し、調書3枚目以降「小施策検討シート」ごとに、下記のとおり分類し表記。

調書2枚目「施策の評価」の表記については、原則として、施策を構成する各小施策のいずれか一つでも2や3とした場合は、本項目も同様に2や3としている。

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | ： 主な予算事業等をこのまま継続して推進する |
| 2 | ： 主な予算事業等を改善しながら推進する |
| 3 | ： 主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う |